

コーナー展示

埼玉の県令Ⅰ

しらね たすけ

# 第2代県令 白根多助展



第2代埼玉県令 白根多助

埼玉県立文書館 展示室 午前9時～午後5時 **入場無料**

平成28年3月1日(火)～6月5日(日)

休館日：月曜・祝日・月末休館日(3/31・5/31)・特別整理期間中(5/9～5/16)

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 4-3-18 電話 048-865-0112  
Fax : 048-839-0539 <http://www.monjo.spec.ed.jp>

彩の国  
埼玉



## 開催にあたって

今回の展示は、昨年度より刊行が始まった『埼玉県史料叢書 埼玉県布達集』（全4巻）（埼玉県教育委員会編集 埼玉県刊行）の関連展示として企画いたしました。『埼玉県布達集』は、布達制度が整った明治8年(1875)から、県報が発刊以前の明治19年(1886)8月までの埼玉県の主要な布達を収録したもので、明治前期の埼玉県政を知る上で基本的な史料といえるものです。この時期の埼玉県を率いたのは、第2代県令白根多助（在任期間：明治8～15年）と第3代県令・初代知事吉田清英（在任期間：明治15～20年）でした。

今回とりあげる第2代埼玉県令白根多助(1819～1882)は、幕末の長州藩で主に財政の方面で活躍しました。その手腕をかわれ、明治4年11月、当時「難治県」といわれていた埼玉県に、初代県令野村盛秀(1831～1873)を支える権参事として赴任しました。明治6年(1873)の野村県令の死去に伴い、権令を経て明治8年12月に第2代埼玉県令となり、その後、明治15年(1882)3月に亡くなるまで在職しました。常に県民の立場に立って県政を進め、「名県令」「徳望の県令」と称せられ、大宮公園には頌徳碑が建てられています。

本展では当館が収蔵する様々な史料や、御子孫から寄贈された「白根家文書」の手紙などから、白根県政の一端を振り返り、その人物像を探っていきます。また、隣県の群馬県令楫取素彦との友情についても触れていきます。白根県令が活躍した明治前期の埼玉県に思いを馳せながら、本展を御覧いただければ幸いです。

最後に、本展示に御協力いただきました寄贈・寄託者の皆様に感謝申し上げます。

平成28年3月1日

埼玉県立文書館長

## I プロフィール・・・・・・・・

白根県令の肖像画・系図・自筆題字・手紙・県令任命布達・職員表・訃報などを展示します。

大宮公園に今も建つ頌徳碑の碑文からは、長州藩士・埼玉県令として歩んだ白根多助の生涯をたどることができます。



2 白根県令自筆の「養材成化」『埼玉県地誌略』題字



17 [埼玉県令白根多助記念碑拓本] (縮小印刷)

\*読み下し文は別紙をご覧ください。

## II 白根県政点描・・・・・・・・

白根県政の一コマを、布達・行政関係史料・手紙などからピックアップします。

### 巡幸

明治天皇は明治9・11・14年の巡幸で埼玉県を視察されました。錦絵にはその様子が描かれています。

巡幸の折には県令が県の概況を報告し、祝賀の和歌や文章などが上呈されました。



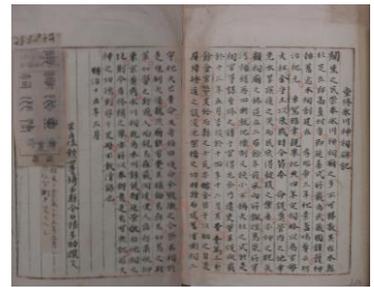
21 御巡幸供奉官員録御休泊附

## 大宮氷川神社再建

明治元年に天皇が行幸した大宮氷川神社の社殿は破損が進み、15年に国と有志の寄付により再建されました。白根県令が碑文を撰した記念碑が、今も三ノ鳥居脇の駐車場に建っています。



26 官幣大社氷川神社御改造宮壁分間真図(山田衛居画)



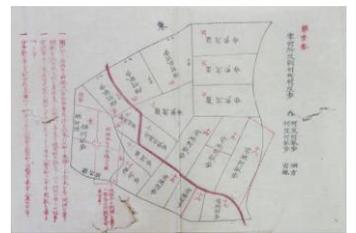
27 重修氷川神祠碑記

## 地租改正

埼玉県では明治8年3月に「地租改正告諭書」・「人民心得書」の布達を発して丈量に着手しました。実質的な地租の増加に不満をもつ農民たちに対し、白根県令は11年5月に説諭書を出し、県内を巡回して協力を求めました。その結果、同年11月に山林原野以外の改租が完了し、改正事務局総裁に新制施行届を提出しました。



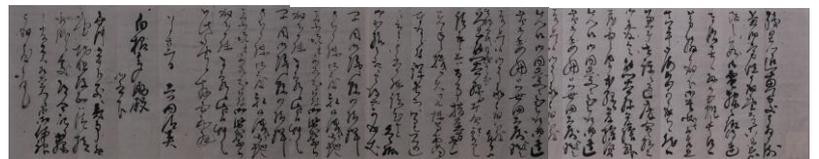
29 地券(改正地券)



30 埼玉県地租改正心得書

## 熊谷県廃止

明治9年8月の府県の管轄替に伴って熊谷県は分割され、旧入間県の地域が埼玉県に統合されることになりました。大阪にいた白根県令に吉田権参事は、急いで帰県をするように手紙を送りました。



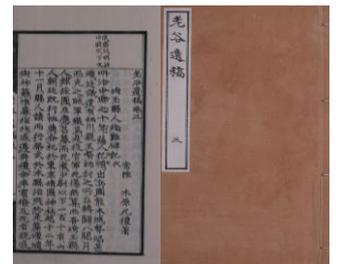
34 吉田清英書状(熊谷県廃県に付知事帰県依頼)

## 西南戦争

西南戦争鎮圧のため、白根県令は県内から多数の巡査を召募して派遣したことにより全国に名を知られることになりました。その後、浦和公園の調神社で慰霊祭が営まれ殉難碑が建てられました。



36 延喜式内調神社境内全図



37 埼玉県人殉難碑記

## 郡制施行

明治12年3月から郡制が施行され、9郡役所を開いて郡長を任命しました。郡長は主に地元の有力者が選ばれています。

白根県令は郡長一人一人に手書きの諭言書を手渡して、郡長の心構えを諭しました。



39 埼玉県置郡分画図



42 諭言書

## 勸業博物館

殖産興業を進める国の方針の下、白根は県民に対して、国や地方、外国で開かれる博覧会への出品を促しました。また、明治11年には浦和公園に仮博物館を設け、広く県産品を集め陳列・販売しました。



46 東京名所上野博覧会一覧（梅寿国利画）

## 狭山茶とグラント將軍

明治9年に繁田武平が設立した狭山製茶会社は、佐藤百太郎を通じてニューヨークに直接茶を輸出しました。白根県令は来日した前米国大統領グラント將軍夫妻に狭山茶を勧めたことを、自身の著作『観光余事』に記しています。



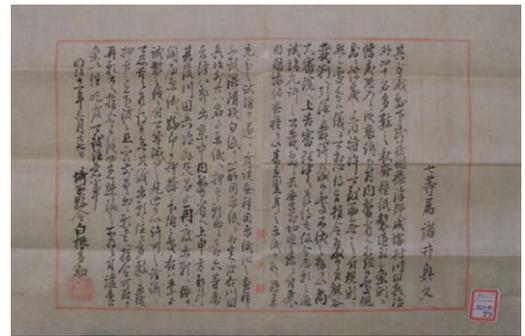
47 狭山茶場碑記



49 観光余事

## 秋蚕

県内の養蚕家が試みた蚕種を風穴に貯蔵して発生を遅らせ、夏以降に飼育する「秋蚕」は、蚕種製造組合法に違反するとして政府に許可されませんでした。白根県令は内務卿大久保利通に陳情しましたが通らず、訴訟となりました。その後、明治11年5月に蚕種製造組合法が廃止され、秋蚕は晴れて許されました。白根県令は、この間、一貫して県内の養蚕家を擁護し続けました。



51 通達(秋蚕種紙製造県印押捺二付)

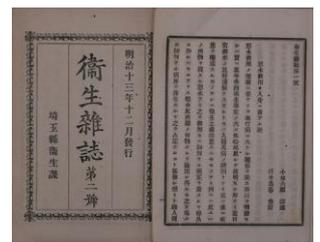
## 医事・衛生

白根は全国に先駆けて廃娼を行っています。

県では布達により、コレラの消毒法やコロープ病などの療法を広めました。また、明治13年には『衛生雑誌』を創刊して、身近な事項をとりあげながら、衛生思想の普及に務めていきました。



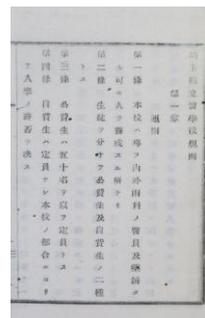
57 布達(コロープ病)



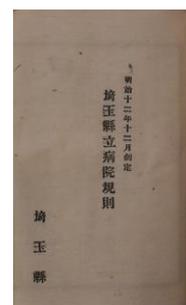
58 衛生雑誌

## 医学校

白根県令は中学校・医学校を埼玉県に設けようと、明治8年、埼玉師範学校内に中学校と医学校を置き、医学校には東京から坪井為春が校長に招かれました。翌9年に独立して県立医学校となりましたが、12年には経費がかさむことなどから廃校となりました。医学校附属の病院は、県立病院として継続しました。



59 布達(埼玉県立医学校規則)



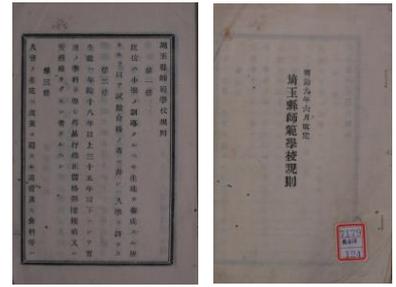
(埼玉県病院規則)

## 学校教育

明治5年、国民皆学を目指す「学制」が公布されました。本県では翌6年改正局を設け、7年には埼玉県師範学校と改めて教員を養成していきます。学校教育に関する様々な規則を整備し、就学を促す諭達も度々出されました。明治11年には師範学校の新校舎が完成し、三条実美が「鳳翔閣」と名付け、白根の額が掲げられました。

明治13年に白根県令が文部卿河野敏謙の下問に答えた「上文部卿書」は、教育令の改正が急務であることを提言し、全国に影響を与えました。

本県の子供たちが使った当時の教科書や、学務課長川島樸坪が著作・編集した教科書も併せて御覧ください。



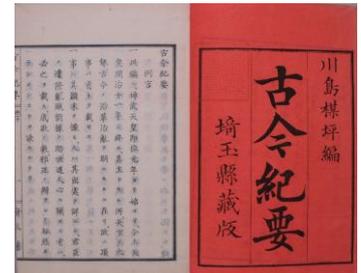
62 布達(師範学校規則)



66 白根多助揮毫額「教化風行文光奎照」 埼玉大学教育学部蔵



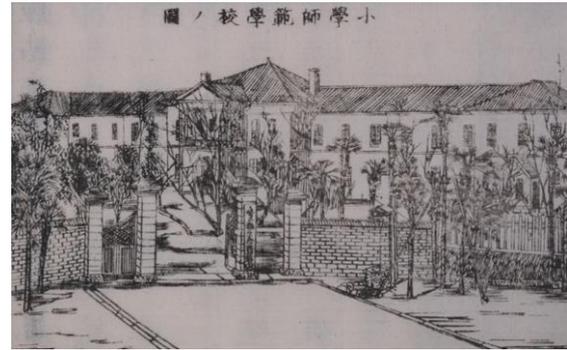
学務課長川島樸坪



74 古今紀要(川島樸坪)



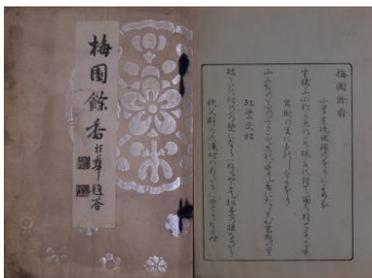
76 師範学校『埼玉県地誌略』挿絵 明治10



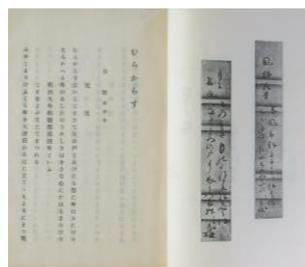
77 小学師範学校『改正埼玉県地誌略』挿絵 明治13

### Ⅲ 白根県令と文芸

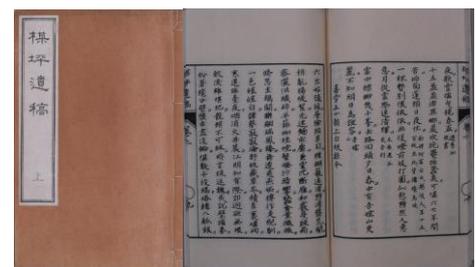
白根県令の周囲には、漢学や漢詩・国学や和歌に優れた部下や、在京の漢学者たちのネットワークが形成されていました。浦和公園では毎月吟行会が開かれ、上奏文や碑文の作成・教科書の校訂などにもそのつながりが活かされました。また、白根県令自身も和歌や俳句をものし、没後には部下勝野秀雄が編集した遺稿集『梅園余香』が出されました。部下たちの詩文集も併せて展示いたします。



80 梅園余香(白根多助)



83 むらからず(勝野秀雄)



84 樸坪遺稿(川島樸坪)

#### IV 明治初期の埼玉風景・・・・・・・・

埼玉県が明治10年に刊行した小学校教科書『埼玉地誌略』には、国が撮影した明治初期の埼玉各地の写真をもとにした木版画が挿絵として添えられました。版画からは当時の埼玉の風景がよみがえります。



戸田橋



小川村抄紙場



徳江橋眺望

#### V 帝都の文明開化・・・・・・・・

白根県令の時代は文明開化が進み、東京の景観も大きく変貌しました。その様子を錦絵に見ていきましょう。



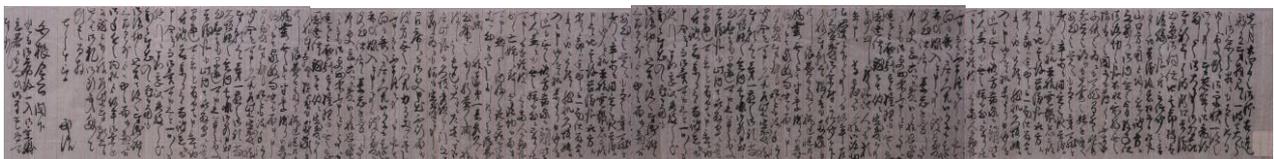
90 東京名勝銀座之通煉化石商家之図(三代広重画)



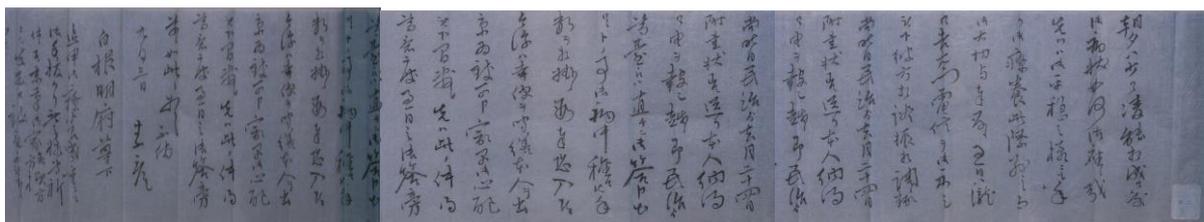
91 東京両国通運会社川蒸気往復盛栄真景図(野沢重清画)

#### VI 白根県令への手紙(楫取素彦と久坂文の再婚をめぐって)・・・・・・・・

白根県令と長州の仲間たちとは、維新後も強い友情の絆で結ばれていました。白根と群馬県令楫取素彦は親しく交際しており、「白根家文書」に残る手紙からは、楫取素彦と久坂文の再婚の仲立ちを、文の兄杉民治(梅太郎)が白根県令に依頼していたことが分かります。今回は6通の手紙を紹介します。



97 白根多助宛杉民治書状(縁談二付) 杉民治の妹久坂文は初め楫取との結婚を拒んでいました。



99 白根多助宛楫取素彦書状(高崎士族騒動) 文は楫取との再婚を決意し、楫取は白根に感謝を述べています。

\* 6通の手紙の内容については、別紙「白根県令も仲立ちした群馬県令楫取素彦と久坂文の再婚～当館収蔵の白根家文書の手紙から～」の翻刻を御覧ください。

## 白根多助年譜

\*参考：小山博氏「第二代県令白根多助」『埼玉県政と知事の歴史的研究』（新興出版社 1996）

### ①長州時代（1819—1871）

（文政2年5月6日）周防国吉敷郡吉敷村に太田直猷の三男として生まれる。（年月不詳）白根兼清の養子となり萩に移住する。長州藩校明倫館に学ぶ。長州藩校明倫館書記となる。長門国美祿郡宰となる。周防国大嶋郡宰となる。（文久3年）長州藩大坂藩邸にあって中山忠光の長州藩亡命を助ける。（文久3年9月～元治元年）長州藩大坂藩邸にあって財政を担当。「大坂日記」を書く。（明治元年）長州藩会計局大属。

### ②埼玉時代（1871—1882）

（明治4年11月）埼玉県権参事、52歳。（明治5年5月25日）名前を包昭から通称の多助に変える。（明治5年9月27日）埼玉県参事。（明治5年11月10日）従六位に叙せられる。（明治6年5月21日）埼玉県初代県令野村盛秀死去。（明治6年12月27日）埼玉県権令。（明治7年2月18日）正六位に叙せられる。（明治8年3月）地租改正に着手。その後、明治11年に終了。（明治8年12月9日）埼玉県令。（明治9年1月25日）従五位。（明治11年2月18日）秋蚕試験出願を専決し違則の蚕紙製造許可のため罰俸半月。（明治12年1月22日）伊藤内務卿・大隈大蔵卿に「上内務大蔵両卿書」を提出。（明治12年6月）埼玉県会創設。（明治13年5月）文部卿河野敏謙の下問に答え「上文部卿書」を提出。（明治14年夏頃～）病を得て、東京湯島梅園町の自宅で療養しながら指示を出す。（明治15年2月）正五位勲四等。

### ③歿後（1882—1924）

（明治15年3月15日）東京湯島梅園町自宅にて死去。谷中墓地に埋葬、63歳。（明治15年3月24日）吉田清英埼玉県第3代県令となる。（明治15年5月）記念碑建碑の献金募集・国から金百円下賜。（明治15年8月）官幣大社氷川神社境内への建碑は不許可となる。（明治16年3月）師範学校教諭木原老谷・中村鼎五が行状書を作成。（明治18年3月：碑文の年月）氷川公園に重野安繹撰文の「埼玉県令白根君碑」建立。（明治24年3月：碑文の年月）谷中の墓脇に宍戸璣撰文の墓碑建立。（大正13年2月11日）皇太子御成婚贈位により従四位を追贈される。

## 白根県令関連の碑

- 明治12年8月 修能谷堤碑（熊谷市久下権八公園）白根多助撰（川島楳坪原稿）・伊藤博文篆額・巖谷修書
- 明治13年5月 埼玉県殉難碑記（さいたま市調公園）白根多助撰（木原老谷稿）・熾仁親王題額・日下部東作書・広群鶴刻
- 明治15年3月 重修氷川神祠碑記（さいたま市大宮氷川神社）白根多助撰・平山省斎書・村上瀧巖刻（重野安繹校訂）
- 明治18年3月 埼玉県令白根君碑（さいたま市大宮公園）重野安繹撰・三条実美篆額・日下部東作書・広群鶴刻
- 明治24年3月 故埼玉県令白根君墓碑銘（台東区谷中霊園）宍戸璣撰・毛利元徳篆額・野村素介書・井亀泉刻

## ＜白根多助関係参考文献＞

- 加藤三吾『埼玉県人物誌』（岩波書店 1920・復刊 歴史図書社 1930）
- 別所梅之助『鈴木庸行』（鈴木庸三 1934）
- 三坂圭治『吉敷村史』（磯村乙巳 1937・復刊 マツノ書店 1988）
- 埼玉県『埼玉県史』第7巻 近代（埼玉県 1939）
- 斎藤智久「故県令行状一白根県令の碑文」『埼玉研究』第19号（埼玉県地域研究会 1970）
- 大宮郷土史研究会「武蔵一宮氷川神社境内石造遺物の調査」『氷川神社の歴史と四季』（大宮郷土史研究会 1984）
- 埼玉県『新編埼玉県史 通史編5 近代1』（埼玉県 1988）
- 菰塚一三郎『関東を拓く二人の賢者一揖取素彦と小野島行薫』（さきたま出版会 1987）
- 埼玉県立文書館「白根家文書目録」諸家文書目録IV 『埼玉県立文書館収蔵文書目録』第27集（埼玉県立文書館 1988）
- 埼玉県『埼玉県行政史』第1巻（埼玉県 1989）
- 小山博「第二代県令白根多助」『埼玉県史研究』第29号（埼玉県 1994）
- 小山博「第二代県令白根多助」『埼玉県政と知事の歴史的研究』（新興出版社 1996）
- 埼玉県教育委員会『埼玉人物事典』（埼玉県 1998）
- 佐野久仁子・長島小夜香「書簡にみる初期埼玉県政一県令白根多助と書記官吉田清英」『文書館紀要』17号（埼玉県立文書館 2004）
- 芳賀明子「県令白根多助への書簡一群馬県令揖取素彦と埼玉県官から」『文書館紀要』第18号（埼玉県立文書館 2005）
- 〃 「第二代埼玉県令白根多助遺稿集『梅園余香』と編者勝野秀雄について」『〃』第27号（〃 2014）
- 〃 「第二代埼玉県令白根多助をめぐる漢学ネットワークー県官の詩文集と白根県令関連碑文から」『〃』第29号（〃 2016）

**埼玉の県令 I 『第2代県令 白根多助展』 展示リスト** \*会期中、一部展示替があります。

I プロフィール			〈秋蚕〉	
1 第2代県令白根多助肖像写真		A16987	50 秋蚕種得失経験之為御下附伺	明治10 明1505-47
2 『埼玉県地誌略』題字(白根多助自筆)	明治10	小室家4090・4092	51 進退伺・通達(秋蚕種紙製造県印押捺二付)	明治10 諸井(興)78・79
3 白根県令鈴木庸行宛書状(鉄道会社株主加入証書)	明治14	鈴木(庸)7179-1	52 申渡(秋蚕・唱へル風穴種ヲ生育シタル答不及沙汰)	明治11 諸井(三)3825
4 埼玉県武蔵国北足立郡浦和駅	明治13	迅速測図原図491	53 養蚕図解	明治18 飯島(徳)335
5 東京府武蔵国本郷区本郷元富士町近傍	明治16	一般地図105-13	〈医事・衛生〉	
6 藤原姓白根系図草稿	明治20-	白根119	54 全盛郭賑ひ(周延)	明治16 小室6373-13
7 布達(県令任命宣下)	明治8	大熊(正)3303	55 布達(廢娼二付)	明治6 明92
8 埼玉県官員表	明治10	長谷川1626	56 布達(コレラ病死亡者取扱) 甲第97号	明治10 林7367
9 木原老谷書状(病氣見舞)		白根138	57 布達(コロブ療法)	明治10 小林(正)1922
10 川島樸坪書状(白根県令逝去二付)	明治15	長谷川1253	58 衛生雑誌 第1~3号	明治13・14 吉田(実)923~925
11 布達(白根県令死去)	明治15	大熊(正)3694	〈医学校〉	
12 白根勝二郎宛笹田黙介書状(遺物配与ノ件)	明治15	白根255	59 埼玉県立医学校規則・埼玉県病院規則	明治9 長谷川141・林7149
13 故埼玉県白根公記念碑ヲ立ツル費ヲ募ルノ疏	明治15	鈴木(庸)8060	60 埼玉県通常会日誌 第12号	明治12 加藤2374
14 故県令行状(木原老谷・中村鼎五)	明治16	県史CH245-2	〈学校教育〉	
15 吉田清英葉書(記念碑下賜金二付)	明治16	長谷川1247	61 埼玉県小学規則・教則	明治8 平川461
16 [氷川公園白根県令頌徳碑・氷川神社絵葉書]		白田141・142	62 布達(師範学校規則)	明治9 長谷川124
17 [埼玉県令白根多助記念碑拓本](縮小印刷)		新井(洗)26618	63 布達(埼玉県内学資法案)	明治10 長谷川146
II 白根県政点描			64 布達(埼玉県中学師範学校規則)	明治12 中川3386
〈巡幸〉			65 諭達(就学督励)	明治11 大熊(正)4068
18 埼玉県田植天覧之図(三代広重画)	明治9	歴史と民俗の博物館蔵	66 白根多助揮毫額「教化風行文光奎照」	明治11 埼玉大学蔵
19 利根川鯉漁天覧(三代広重画)	明治9	歴史と民俗の博物館蔵	67 師範学校小学教授法	明治6 小林(茂)4514
20 御幸堤起工記念写真		田口(栄)2103	68 上文部卿書(『埼玉県教育史資料近代編(1)』)	明治13 図書S372-サ
21 御巡幸供奉官員録御休泊附	明治14	小林(正)2014	69 小学読本 巻之1(師範学校)	明治7 井上3815
22 川島樸坪書状(巡幸慶賀案)	明治14	白根19	70 日本地誌略 巻1・2(師範学校)	明治7 小室4072・4075
23 賀北巡表(川島樸坪代書)『樸坪遺稿』巻上	大正6	掘越(哲)33	71 改正増補物理階梯 巻之上(片山惇吉)	明治9 井上家3810
〈大宮氷川神社再建〉			72 輿地誌略 巻1・2	明治3 宇野家2410・2583
24 武蔵国官幣大社氷川神社行幸之図(興宗保祿画)	明治33	西角井8186	73 埼玉県地誌略	明治10 小林(正)2237
25 氷川神社三宮絵図	明治2	西角井4826	74 古今紀要 巻1(川島樸坪)	明治12 井上3836
26 官幣大社氷川神社御改造宮壘分間真図(山田衛居画)	明治14	岸田7305	75 改訂修身叢語 上(川島樸坪)	明治14 浅見2131
27 重修氷川神祠碑記(白根多助)	明治15	明37-79	76 師範学校(埼玉県地誌略)挿絵	明治10 小室4090
〈地租改正〉			77 尋常小学師範学校(『改正埼玉県地誌略』挿絵)	明治13 小室4091
28 地券之証(壬申地券)	明治8	小島596	78 川越小学校画図	明治12 川越小学校蔵
29 地券(改正地券)	明治13	高橋(周)3962	79 学校生徒運動之図	小室家6371-29
30 埼玉県地租改正心得書	明治8	平川372	III 白根県令と文芸	
31 [地租改正]御説諭書写	明治11	久保1387	80 梅園余香	明治16 個人蔵
32 上内務大蔵両卿書(伊藤博文・大隈重信宛)	明治12	県史CH245-2	81 勝野秀雄書状(梅園遺香編輯二付)	明治15 白根335
〈熊谷県廃止〉			82 麗和新誌 第1号・社規(麗和吟社)	明治12 中川2957・小林(正)3162
33 熊谷県管内略図	明治8	小室3300	83 むらからず(勝野秀雄)	大正3 西角井9481
34 吉田清英書状(熊谷県廃止に付知事帰県依頼)	明治9	白根35	84 樸坪遺稿(川島樸坪)	大正6 埼玉銀行3447・3448
35 布達(旧熊谷県武蔵国分管轄替)	明治9	林7264	85 藍澳遺稿(早川光蔵)	大正6 西角井9097
〈西南戦争〉			86 老谷遺稿(木原老谷)	明治43 個人蔵
36 延喜式内調神社境内全図(皆川岳岳図)	明治31	明2372	IV 明治初期の埼玉風景	
37 埼玉県人殉難碑記『老谷遺稿』巻3(木原老谷)		個人蔵	87 『埼玉県地誌略』木版挿絵(狩野良信画)	明治10 小室4090
38 布達(十年西南之役尽力者ニ勲章下賜)	明治12	林7146	V 帝都の文明開化	
〈郡制施行〉			88 東京横浜名所一覽図絵高輪蒸気車鉄道	小室6373-21
39 埼玉県置部分画図	明治12	篠崎4297・鈴木(庸)9228	89 東京海運橋兜町為替座五階造之図(国輝画)	明治5 小室6370-14
40 芳川恭助書状(郡長并郡書記任命人員表)	明治12	小室1128-3	90 東京名勝銀座之通煉化石商家之図(三代広重画)	明治6 小室6373-16
41 掘越本家銅版画写真(博覧図 精行社)		掘越(哲)127	91 東京両国通運会社川蒸気往復盛栄真景図(野沢重清画)	明治10 小室8273-15
42 諭言書(白根多助)	明治12	鈴木(庸)2339	92 武蔵百景之内鉄砲洲高橋佃島遠景(小林清観画)	小室6321-22
43 日課程(鈴木庸行)	明治12	鈴木(庸)3191	93 東京滑稽名所蕎麦の転覆(三代広重画)	小室6371-17
〈勤業博物館〉			VI 白根県令への手紙(楢取素彦と久坂文の再婚をめぐる)	
44 博物館建築二付見沼代用水関係模型出品	明治11	篠崎2859	94 講談社の絵本 吉田松陰(大倉桃郎文 富田秋絵)	昭和16 川田5395
45 明治11年埼玉県下官設博物館第1期観覧景況報告	明治12	諸井(三)2120	95 楢取素彦書状(今晚面会御断)	白根10
46 東京名所上野博覧会一覽(梅寿国利画)	明治14	小室6373-14	96 杉民治書状(杉民治東京迎入ノ件)	明治9 白根2
〈狭山茶とグラント將軍〉			97 杉民治書状(縁談二付)	明治14 白根406
47 狭山茶場碑記	天保3	小室751	98 楢取素彦書状(高崎士族の動向)	明治14 白根1
48 狭山製茶英文広告	明治8	明1503-9	99 楢取素彦書状(高崎士族騒動)	明治14 白根13
49 観光余事(白根多助)	明治12	諸井(三)493	100 白根勝二郎宛杉民治書状(御尊父逝去ノ悔)	明治15 白根211